

中野区自殺対策計画 成果指標および目標の達成状況

成果指標	基準（平成27年）	目標（令和5年）	実績値（令和3年時点）
自殺死亡率（人口10万対）の減少	20.5	16.0	17.9

基本目標1 生きることの促進要因を増やす（ポピュレーションアプローチ）				実績値		
【成果指標】				30.8%（令和2年度実施）		
■自殺対策は自分自身に関わると思う人の割合 現状（平成30年度）26.8% ⇒ 目標（令和5年度）35.0%				81.3%（令和元年度実施）		
■自殺対策講演会参加者のうち、今後を活用できると答えた人の割合 現状（平成30年度）なし ⇒ 目標（令和5年度）93.0%						
基本施策1 区民への普及と啓発						
取組 【重点施策】区民を対象とした普及啓発の実施						
事業名	指標	現状（平成30年度）	目標（令和5年度）	実施状況	達成状況	令和4年度の取組
自殺対策講演会（区民向けゲートキーパー研修）	自殺対策講演会参加者のうち、今後を活用できると答えた人の割合	—	93.0%	平成31年度（令和元年度）実施。令和2年度以降はYouTubeにて動画配信を行う。	81.3%（令和元年度）	感染状況を見極めつつ、講演会形式で実施予定。
普及啓発	情報発信の回数	随時	拡充	自殺対策強化月間および各種講演会等の開催時を中心に区報、区ホームページ等で情報発信を行った。	拡充	フェイスブック、ツイッターでのPRを拡充予定。
取組 自殺対策強化月間における普及啓発および広報活動						
事業名	指標	現状（平成30年度）	目標（令和5年度）	実施状況	達成状況	令和4年度の取組
自殺対策強化月間における普及啓発	展示実施場所	4か所	8か所	平成31年度（令和元年度）以降毎年実施。区役所横断幕、区役所ロビー、夢通り、図書館（2館）	4か所	普及啓発に効果的な場所に展示を拡大する。
基本施策2 生きることの促進要因への支援						
取組 【重点施策】遺された人および支援者への心のケア						
事業名	指標	現状（平成30年度）	目標（令和5年度）	実施状況	達成状況	令和4年度の取組
遺された人および支援者との事例検討会	実施回数	—	随時	令和3年度に、既遂ケースについて所内で事例検討を実施し、精神科医師の助言を受けた。	随時	支援者の心のケアをより丁寧に行うための方策を検討する。
遺された人への広報	リーフレット配布数	—	1,000部	東京都の自死遺族向けリーフレットを自殺対策強化月間に配布。	—	東京都リーフレットを活用し、配布先や部数を把握
取組 地域における必要な支援につなげるための取組						

	事業名	指標	現状（平成30年度）	目標（令和5年度）	実施状況	達成状況	令和4年度の取組
	自殺対策担当者会議	開催回数	年1回	拡充	令和4年度 4月に第1回目を実施。計画掲載の関連事業の進捗事業の確認を行った。	1回/年	子ども・若者、女性、生活困窮、就業者等対象別の担当者会を実施し、より具体的な検討を実施する。

基本目標2 生きることの阻害要因を減らす（ターゲットアプローチ）

【成果指標】

- リーフレット配布に協力を得られた関係機関の数 現状（平成30年度）なし ⇒ 目標（令和5年度）20か所
- ゲートキーパー研修参加者のうち、今後に活用できると答えた人の割合 現状（平成30年度）なし ⇒ 目標（令和5年度）95.0%

実績値
—
95.8%（令和元年度実施）

基本施策3 自殺防止に向けた取組

取組 【重点施策】生きづらさを抱えた人への支援

事業名	指標	現状（平成30年度）	目標（令和5年度）	実施状況	達成状況	令和4年度の取組
生きづらさを抱えた人への広報	リーフレット配布数	—	1,000部	区のホームページ等で情報発信。	—	区のホームページやSNSで広報を拡大。
区内居場所情報一覧の整備	リーフレット配布数	—	1,000部	情報を紙媒体から、ホームページ公開へ変更した。	推進	今後もホームページで周知。
未遂者支援	情報共有の割合	100%	100%	未実施。	—	区内救急病院、警察へのヒアリングを予定。
	リーフレット配布数	—	1,000部	未実施。	—	区内救急病院、警察へのヒアリングを予定。
バックアップ体制の整備	体制整備	—	完了	令和2年度新たに医療中断予防チームを設置。精神科医師・保健師・精神保健福祉士を中心とした多職種で、地域で課題を抱えて生活している方を支援。また事例検討会を実施し、支援者とともに検討、支援している。	推進	引き続き実施。
ひきこもり等への対応	体制整備	—	完了	令和4年度より、中野区社会福祉協議会に委託する形でひきこもり相談窓口が開始。	完了	

取組 【重点施策】若年者対策の推進

事業名	指標	現状（平成30年度）	目標（令和5年度）	実施状況	達成状況	令和4年度の取組
SOSの出し方に関する教育	実施時間数	各区立小・中学校1時間	各区立小・中学校1時間以上	全校で実施。東京都指定のDVDを活用するが、細かい授業内容は学校ごとに決めている。	1時間	授業の内容や時間数の調査を行う。
若年者向け普及啓発	実施回数	—	年1回	平成31年度に若者向けミュージカルを実施。令和2年度は区内32校の高校、専門学校、大学にDVDを配布	推進	コロナの影響によりミュージカル方式はとれないため、他の普及啓発の方法を検討。
若年者への広報	区内中学卒業生に対してリーフレット配布ができた割合	—	100%	中学校卒業生、新成人へのリーフレット配布。	100%	引き続き実施。

取組 勤労者対策の推進

事業名	指標	現状（平成30年度）	目標（令和5年度）	実施状況	達成状況	令和4年度の取組

区内中小企業等への広報	リーフレット配布枚数	—	1,000部	未実施	—	配布を実施していただける事業所へアプローチ。
区内企業との連携事業	実施回数	—	年1回	未実施	—	配布を実施していただける事業所へアプローチ。
労働関係機関と連携した広報	リーフレット配布枚数	—	1,000部	未実施	—	飲食店向け講習会、産業振興センター、ハローワーク、商工会議所へリーフレット配布実施する。
勤労者が利用しやすい場での広報	リーフレット配布に協力いただける中野区食品衛生協会加盟店の割合	—	100%	未実施	—	食品衛生と連携。

取組 自殺対策を支える人材の育成

事業名	指標	現状（平成30年度）	目標（令和5年度）	実施状況	達成状況	令和4年度の取組
介護事業者向けゲートキーパー研修	ゲートキーパー研修参加者のうち、今後に活用できると答えた人の割合	—	95.0%	平成31年度(令和元年度)より実施。	81.8% (令和3年度)	引き続き開催し、現場で活用できる内容を提供する。
職員向けゲートキーパー研修	ゲートキーパー研修参加者のうち、今後に活用できると答えた人の割合	—	95.0%	令和2年度実施。令和3年度以降は、区民向けのYouTube動画配信を区職員へ周知。	95.8% (令和2年度)	引き続き開催し、現場で活用できる内容を提供する。

基本目標3 関係機関が連携して自殺対策を推進する（包括的な推進体制の基盤整備）

【成果指標】

■庁内各部課および関係機関と連携して実施した事業の回数 現状（平成30年度）なし ⇒ 目標（令和5年度）年5回

実績値

—

基本施策4 地域ネットワークの強化

取組 【重点施策】地域における顔が見える関係づくりの強化

事業名	指標	現状（平成30年度）	目標（令和5年度）	実施状況	達成状況	令和4年度の取組
地域関係者向け ゲートキーパー研修	ゲートキーパー研修参加者のうち、今後活用できると答えた人の割合	—	93.0%	令和3年度に中野区社会福祉士勉強会を対象に実施	95.7% (令和3年度)	引き続き、ニーズのある地域関係者向けに実施。
地域イベントでの広報	リーフレット配布数	—	1,000部	未実施	—	東京都リーフレットを可活用し、イベント等で配布する。

取組 【重点施策】精神科と一般診療科を含めた地域の保健医療連携の強化

事業名	指標	現状（平成30年度）	目標（令和5年度）	実施状況	達成状況	令和4年度の取組
地域における保健医療連携のあり方について協議する場の設置	体制整備	—	完了	中野区地域精神保健連絡協議会を令和元年11月から実施。令和2年開催なし、令和3年書面開催。	1回/年	引き続き実施。